

vol.6

START UP Company

今月の注目スタートアップ

ここで紹介するスタートアップ企業は、ふくおかフィナンシャルグループの投資会社
FFGベンチャービジネスパートナーズが運営するベンチャーファンドが投資しています。

シェア型電動マイクロモビリティサービス

mobby ride



#「ガマン」をなくして
新たな「可能性」を広げます

私たち株式会社mobby rideは、海外で浸透しつつある電動キックボードなどのシェア型電動マイクロモビリティプラットフォームを運営しています。まずは福岡という街で持続可能なビジネスモデルを確立し、法律を福岡市から変え、ラストマイル問題の解決を目指しています。

規制緩和による実証スタート

海外では手軽な移動手段としてラストワンマイルの移動で普及しつつある電動キックボードですが、日本の法令上、電動キックボードは原動機付自転車と分類されており、公道で走る場合は、後写鏡（ミラー）、警音器、ナンバープレートなど設置し、原動機付き自転車の保安基準を満たす必要があります。加えて、原動機付き自転車になる為、ヘルメットの着用義務や免許証所有が必須



となり、また、走行区分も限定されることから、安全で手軽な移動手段として普及が進んでいません。mobby rideは内閣官房、経済産業省、福岡市と連携し、九州大学伊都キャンパスや、大橋エリアでの実証実験を2020年10月から開始しています。またシェアサイクル事業者であるCharichariと提携を行うことで、300箇所以上あるポートのシェア等を行い、シェアリング事業開始時から広範囲で利用可能な環境を目指しています。

広い敷地をもつ私有地内での移動に対する課題を解決

シェアリング事業だけでなく、mobby rideはキックボードと通信・GPSを活用して、大学、公園、工場、テーマパーク、建設現場等におけるそれぞれの移動に対する課題を解消するビジネスを展開しています。トヨタ自動車九州様の工場内で、構内自転車・バスの代替手段としてキックボードを導入していただいております。現在100台を超えるキックボードが敷地内を走っています。敷地内における速度制限・エリア制限を実施することにより安全性を確保し、さらに従業員の移動データの可視化ができ、移動効率改善につながっています。海の中道海浜公園様においても

バスに代替する来園者向け移動手段として導入実証を実施しています。また移動手段だけでなく、一つのアトラクションとして位置づけ、事業者の新たな収益源とすることも目指しています。今後も広い敷地をもつ様々な事業者の移動に関する課題解決につながるビジネスを行ってまいります。

今後の展開と展望

政府・自治体と連携を行いながら規制緩和によるシェアリング事業開始を目指す間は、事業者向けサービスを展開し、その事業で得た資金で規制緩和に向けた投資を行ってまいります。

また将来的には、電動キックボードに移動データ等を活用した、データビジネスや不動産価値を高めるような事業を展開することを考えています。



会社概要

株式会社mobby ride

代表取締役 日向 諒

所在地 福岡市中央区天神2-6-11
FukuokaGrowthNext205

お問合せ先 pr@mobbyride.jp

